

《2011年 科学者集会（岐阜） サーキュラー（6.15）》

原水爆禁止 2011年世界大会・科学者集会

ノーモア ヒロシマ・ナガサキ、
ノーモア フクシマ、
ノーモア ヒバクシャ
～非核の世界をめざして～

日 時：2011年7月31日（日）10:00～16:30

会 場：じゅうろくプラザ「大会議室」（JR岐阜駅に隣接、徒歩3分）

参加費：会員・一般 1000円、院生・学生 500円

1953年12月のアイゼンハワー大統領の演説“Atoms for Peace”は大喝采を浴びたが、核兵器支配を継続する中での米国の核エネルギー支配政策であった。この意を受けた正力松太郎らは、1954年以降マスメディアを総動員して一大キャンペーンを展開した。中曽根康弘らは2億3千5百万円の原子力予算を議員提案し、正力は初の原子力委員長として日米原子力協定を締結し、やがて米国から濃縮ウランと軽水炉を次々と輸入し、自主・民主・公開の原子力平和利用三原則を破って原発の大増設をおこなった。

日米一体で巨額の国費を使って推進した「原子力の平和利用」の掛声は、1954年3月のビキニ被曝を機に燃え広がった原水爆禁止運動に水を差し、核兵器が戦争を抑止するという「核抑止論」を蔓延させた。1950年発足当初から内部被曝を隠したICRP（国際放射線防護委員会）は、とくに低線量内部被曝を過小評価する誤った基準値を押し付け、「原発安全神話」を草の根で刷り込む役割を果たした。

今私たちは、2010年NPT再検討会議の合意の実行、とりわけ「核兵器のない世界」の実現のための枠組みを実現させる絶好の機会を迎えている。

それと併せて、3月11日に起きた福島第一原発事故に鑑み、核兵器と原発が私たちのいのちを脅かし続け、地球上の生物多様性の保存にも危機をもたらしていることを、科学的に明らかにする必要がある。

3.11を経験した私たちが、この集会で核エネルギーの誤用と悪用を断ち切るために、将来世代に責任をもつ徹底した討論のできるよう、みなさまのご参加を心からお願いしたい。

2011年6月

原水爆禁止 2011年世界大会・科学者集会実行委員会
委員長 松井 英介

原水爆禁止 2011 年世界大会・科学者集会 プログラム

2011 年 7 月 31 日 (日)

じゅうろくプラザ「大会議室」(240 席)

- 9:30 開場
- 10:00 [開会挨拶] 実行委員長 松井英介 (岐阜環境医学研究所所長)
- 10:10 [基調報告] 「核兵器のない世界への展望と原発から再生可能エネルギーへの
転換」 沢田昭二 (名古屋大学名誉教授)
- 11:10 [報告 1] 「『日米軍事同盟』の動向」 伊藤宏之 (福島大学特任教授)
- 11:40 [海外代表の特別報告] 海外からの報告者 (未定)
- 12:10 (昼食休憩)
- 13:10 [報告 2] 「福島原発事故 - 惨禍の地域社会」 清水修二 (福島大学副学長)
- 13:40 [報告 3] 「内部被曝の危険性(1) 物理学的側面」
~ 放射線の作用と ICRP 批判 放射線被曝を科学から遠ざけた基準 ~
矢ヶ崎克馬 (琉球大学名誉教授)
- 14:10 [報告 4] 「内部被曝の危険性(2) 医学的側面」
~ 放射線医学と疫学に基づく内部被曝健康影響研究の到達点と課題 ~
松井英介 (岐阜環境医学研究所所長)
- 14:40 (休憩)
- 14:50 [報告 5] 「高レベル放射性廃棄物地層処分問題から見た原発の犯罪性」
~ 岐阜県における超深地層処分反対運動 ~
古瀬和寛 (古瀬医院院長、「東濃・下伊那とその下流域
を核のごみから守る連絡会」会長)
- 15:20 (総合討論)
- 16:20 [集会のまとめと閉会あいさつ]
- 16:30 閉会

原水爆禁止 2011 年世界大会・科学者集会参加申込書

氏名：	勤務先・所属団体など
連絡先：〒	
TEL	E-Mail
会場から発言を希望される場合、そのテーマなどをご記入ください。	
備考：	専門分野

集会の進め方

- ・分科会方式はとらず、すべて全体会で行います。
- ・「総合討論」での会場からの発言（3分以内でお願いします）をご希望の方は、「参加申込書」に必要事項を記入してご提出ください。なお、時間の関係で発言できない場合もあります。

参加申し込み・参加費

- ・「参加申込書」に必要事項を記入して、下記までご送付ください。当日のご参加も受け付けますが、会場準備のため、事前申し込みにご協力ください。
- ・会場周辺にも多くのホテルがございます。宿泊については各自で手配をお願いします。
- ・参加費は、当日、受付でいただきます。

《申込み・問合わせ先》

原水爆禁止 2011 年世界大会・科学者集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階

日本科学者会議 気付

03-3812-1472 FAX 03-3813-2363

E-Mail zenkoku アットマーク jsa.gr.jp

「プレ集会」のご案内

日本科学者会議岐阜支部では、東海ブロック（愛知、三重、静岡）の各支部の協賛を得て、科学者集会の前日に「プレ企画」として「内部被曝による健康障害 研究の到達点と今後の展望」をテーマに、市民のみなさんと一緒に討議・対話できる集いを企画しました。

【日時】2011 年 7 月 30 日（土）14:00~19:00

【会場】じゅうろくプラザ「小会議室」（72 席、JR 岐阜駅に隣接、徒歩 3 分）

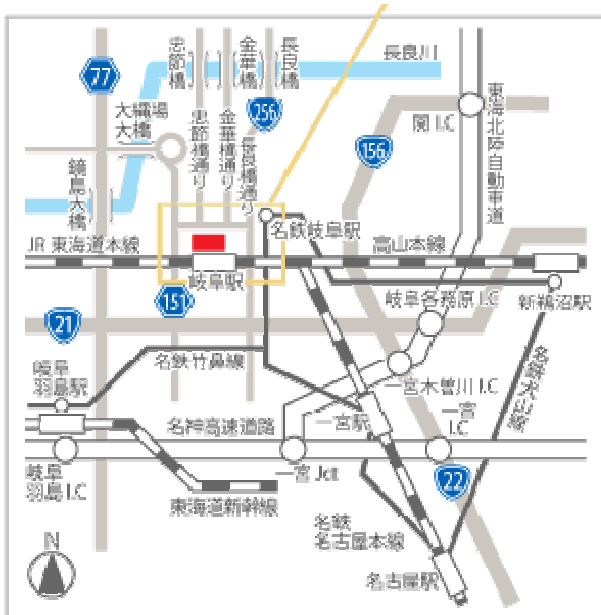
【参加費】会員・一般 1000 円、院生・学生 500 円、高校生以下 無料

- ・ 14:00 ~ 16:00 1) 沢田昭二：原発導入の歴史と原爆症認定集団訴訟における内部被曝問題（報告）
2) 矢ヶ崎克馬：内部被曝に関する物理学的側面からのメカニズムの解明
3) 松井英介：内部被曝の医学的側面、特に子どもと妊婦への危険性について

・ 16:30 ~ 18:00（分科会）討議・意見交換 18:00 ~ 19:00（全体会）発言、まとめ

【問合わせ】日本科学者会議岐阜支部事務局（shinyo118 アットマーク yahoo.co.jp）

◆交通のご案内



じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)

〒500-8856 岐阜市橋本町1丁目10番地11 TEL.058-262-0150(代)

交通のご案内

- ・ JR 岐阜駅より 徒歩約3分
- ・ 名鉄岐阜駅より 徒歩約7分
- ・ 岐阜各務ヶ原 IC より 車約15分
- ・ 岐阜羽島 IC より 車約20分

駐車場のご案内

- * 有料駐車場：58台収容
- * 駅前にも有料駐車場は多数有